

一般社団法人日本オリエント学会会員各位

2019年10月12日・13日に計画しておりました日本オリエント学会第61回大会は、台風19号の影響により、公開講演会を11月23日に延期・開催し、研究発表およびポスター発表を「電子発表」（一部は公開講演会にて展示）とさせていただきました。「電子発表」者の発表要旨につきましては、2020年3月31日発行の『オリエント』第62-2号に掲載されます。

お振込みいただきました参加費は、10月の時点ですでにプログラムの印刷・発送、公開講演会の会場費、名札などの大会準備費に支出されていきました。残金につきましては日本オリエント学会の学会費に繰り入れ、学会の諸活動に活用されることになりました。

日本オリエント学会第324回公開講演会は、明治大学リバティタワー1階・1011教室（駿河台キャンパス）において11月23日に下記のとおり開催され、多数の皆様のご出席をいただきました。お二人の講演要旨も『オリエント』第62-2号に掲載されます。

「知の集積と伝達—イスラーム文化の一側面」

- ・第1講演 後藤裕加子（関西学院大学文学部教授）

「ペルシア語文化圏の写本制作と宮廷図書館—サファヴィー朝を中心に」

- ・第2講演 永田雄三（公益財団法人東洋文庫研究員、元明治大学文学部教授）

「オスマン帝国近世のアナトリアにおける地方名士の写本収集と図書館の建設—地域社会振興の一環として」

- ・コメント：近藤信彰（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授）

公開講演会後に開催された第41回日本オリエント学会奨励賞授賞式では、早稲田大学文学部学術院助手の竹野内恵太会員に奨励賞が授与されました。その後、日本オリエント学会の懇親会が、リバティタワー23階矢代操ホールにて、和やかに開催されました。

第61回大会は、学会史上はじめての自然災害による延期・「電子発表」という異例の大会となりましたが、会員の皆様にご理解とご協力を賜りましたことへ、また多くの方から暖かいお言葉をかけていただきましたことへ心より御礼申し上げます。

2020年3月23日

日本オリエント学会大会実行委員会一同